

「事例解説」説明シート

「事例解説」のまとめ方、見方

分類番号

- 01 小学校（校種）
- A1 学習面での1次的指導・援助
（対象領域と指導・援助水準）
- 001 事例の通し番号

【01-A1-001】

事例のテーマや指導・援助方法等が書かれている

事例の内容を端的に示したタイトルを付けている

した事例（ 学校 年生男子）

タイトル

キーワード： キーワード1 キーワード2 キーワード3 キーワード4

塗りつぶしのキーワードは、「キーワード解説」をしている

事例の概要を短く示している

この事例解説では、

まとめました。

「事例解説」は、基本的に「問題の概要」「対応の概要」「指導・援助のポイント」で構成している

「事例解説」のねらいは、対応の概要を踏まえて、指導・援助のポイントを示すことである

問題の概要

「問題の概要」では、事例の必要最低限の理解を目的とし、事例内容を簡潔に紹介している。事例によっては、「取組の概要」などの表記にしている。

対応の概要

1 （見出し）

「対応の概要」では、指導・援助の経過を踏まえながら、その要点をまとめている。事例によっては、「問題の概要」と合わせながらまとめている場合がある。

実践のポイント

1 （見出し）

「実践のポイント」では、事例の特徴や優れた点、事例から学ぶべき点をまとめている。「実践からの教訓」といった表記もある。事例解説においては、ここの部分を最も重要視している。

「キーワード解説」説明シート

「キーワード解説」のまとめ方、見方

「事例解説」の中の「キーワード」に対応している

コーディネーション

コーディネーション (coordination) は、「学校内チーム及びシステムレベルで、援助活動を調整するものに直接・間接にかかわる人や環境を「調整」しなであり、学校教育相談活動の中心的な機能であると

解説するキーワードについての大まかな定義や説明、大切な点等について触れている。文章だけでなく図や表などにまとめているものもある。

コーディネーションの大切さ

子どもたちの指導・援助にあたっては、教職員が連携・協働し、チームでかかわることがたいへん重要です。しかし、現実には、教職員自らが意識的に求めなければ、なかなか促進しにくいという特徴があります。

解説する「キーワード」について、概要をまとめている。読みやすさと今後の学びの契機になることをねらいとしており、分量も必要最小限にしてある。

コーディネーションのコツ

校種によって違いはありますが、教育相談係や生徒指導主事や学年主任、養護教諭がコーディネータ・となることが期待されます。

さらに詳しい内容を知ったり、今後の学習に役立てられるよう、参考文献を示してある。

【参考文献】・石隈利紀・田村節子著『チーム援助入門』図書文化

・学校心理士資格認定機構監修『講座学校心理士 - 理論と実践』第3, 4巻 北大路書房